



日本遺産



灰吹銀

近代化産業遺産認定
日本の地質百選
国の重要な文化的景観選定

史跡 生野銀山

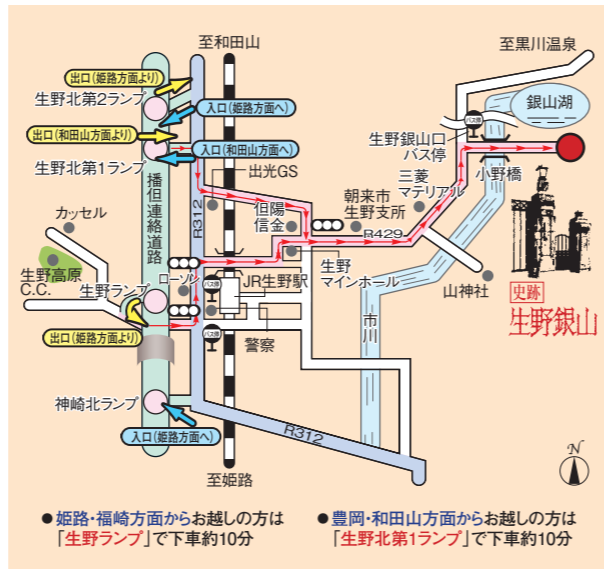
UNDERGROUND

IKUNO GINZAN

開坑
1200年

1200年の歴史とロマン

水と緑の美しい銀の里



■ 営業時間 / A.M.9:00～P.M.5:30 [4月～10月]

[11月] A.M.9:00～P.M.5:00
[12月～2月] A.M.9:30～P.M.4:30
[3月] A.M.9:30～P.M.5:00
※観光坑道は閉館40分前にはご入場ください。

■ 定休日 / 12月～2月の3ヶ月間の毎週火曜日
(但し、火曜日が祝日の場合、翌日に振替)
年末年始

■ 入場料金、休業日等の詳細につきましては、お出かけの前に弊社ホームページ又はお電話にてご確認ください。

- 観覧所要時間 / 約40分 ※ガイド付きの場合 約1時間
ボランティアガイド(無料)による坑道案内
○個人のお客様 1日一回 13:30～(除 お盆期間)
○15名以上の団体様 ご希望の方は事前にご予約ください。
○尚ボランティアガイドの人数に限りがございますので、ご希望に添えない場合はご容赦願います。
- 駐車場料金 / 無料(普通車210台、大型バス10台)
- 障がいのある方へ
障がい者手帳をお持ちの方は窓口に手帳を提示いただければ半額になります。
- 坑道内は車イス・ベビーカーで通行できます。
- ペット同伴で入場できます。
- 各テナントの定休日は別途お問い合わせください。

■ 生野銀山文化ミュージアム(生野鉱物館2F)
ご入場料金のほかに別途料金が必要です。

株式会社 シルバー生野
〒679-3324 兵庫県朝来市生野町小野33-5
TEL.079-679-2010 / FAX.079-679-2755
http://www.ikuno-ginzan.co.jp



生野銀山は大同2年(807)に発見されたと伝えられ、室町年間の天文11年(1542)には山名祐豊時代に銀鉱脈の本格的な採掘が始まりました。織田・豊臣の各時代を経て、江戸時代に幕府が「銀山奉行」を設置。その後「生野代官」が置かれ、やがて生野銀山は最盛期を迎えます。

明治元年、政府直轄鉱山となった生野銀山にフランス人技師ジャン＝フランソワ・コワニエが着任し、軌道や巻揚機の新設など数々の先進的施策により、めざましい近代化を成し遂げました。

明治22年には宮内省御料局の所管へ移され皇室財産に。次いで明治29年に三菱合資会社へ払い下げられ、国内有数の大鉱山として稼行しましたが、昭和48年に閉山し、長い歴史に幕を閉じました。

その間に掘り進んだ坑道の総延長は350キロメートル以上、深さは880メートルの深部にまで達しており、採掘した鉱石の種類は70種以上にも及んでいます。

観光坑道

銀山隆盛の歴史を今に伝える近代坑道「かな香瀨坑」を観光坑道として公開しています。鉱員たちが命を託し、地中深く降りていったエレベーター立坑と、その巨大な巻揚ドラムは圧巻。近代的坑道に沿って、人が這って通った江戸時代の坑道に狸掘りの生々しいノミ跡や鉱脈をご覧ください。



生野銀山文化ミュージアム (生野鉱物館2F) ※入館料別

生野銀山の歴史と文化、鉱山の科学などをテーマとした展示や、生野で産出した「生野鉱」「桜井鉱」を始め貴重な鉱物標本(800点以上)、江戸時代の坑道の原寸大模型などを展示しています。



鉱物標本の展示

生野鉱山年表

年号	事項
大同 2年 (807年)	生野銀山発見と伝えられる。
天文11年 (1542年)	古城山南表に銀石発見(銀山旧記)。銀の産出盛ん。
天正 6年 (1578年)	織田信長が生野に代官を置く。
天正10年 (1582年)	本能寺の変。豊臣秀吉が生野に代官を置く。
慶長 5年 (1600年)	徳川家康が天下をとり、生野に奉行を置く。
享保元年 (1716年)	奉行を廃し代官を置く。
明治元年 (1868年)	明治政府官営鉱山となる。
明治 9年 (1876年)	私人技師ジャン＝フランソワ・コワニエの指導による経営近代化はじまる。 生野～姫路節磨港間に生野鉱山寮馬車道(銀の馬車道)完成。 工部卿・伊藤博文を迎え、生野鉱山製鉱所落成式を挙げる。
明治18年 (1885年)	生野～神子畑間の鉱石運搬専用道路(鉱石の道)完成。
明治22年 (1889年)	皇室財産となる。
明治28年 (1895年)	生野～姫路節磨港間を結ぶ播但鉄道開通。
明治29年 (1896年)	三菱合資会社に払い下げ。
昭和48年 (1973年)	鉱量枯渇等により坑内生産中止。鉱山部門閉山。
昭和49年 (1974年)	史跡・生野銀山オープン。
平成19年 (2007年)	近代化産業遺産に認定。
平成23年 (2011年)	生野銀山文化ミュージアム(生野鉱物館)を新装オープン。
平成26年 (2014年)	国の重要な文化的景観に選定。
平成29年 (2017年)	日本遺産に認定。(生野鉱山関連遺構)